



田中幸太郎県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

江戸川第一終末処理場

早期完成へ工事急ピッチ

住み良いまちづくりに力を注いでいる田中幸太郎県議(2期)は2月定例県議会で登壇し、ふるさと市川市の課題を中心に、熊谷知事ら県執行部に現状と対策を質問しました。千葉県北西部の人々の生活排水を処理する江戸川第一終末処理場の整備が進められていますが、田中県議は施設の早期完成を要望、また、市川市内を流れる真間川下流の不法係留船対策を求めました。田中県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

2月定例県議会一般質問



県の施策を質問する田中幸太郎県議

田中議員 江戸川第一終末処理場は千葉県北西部の都市化に伴い、増加する人口の生活排水を処理すべく市川市本行徳地域に2つ目の終末処理場として令和3年3月に供用を開始し、流入汚水の増加に対応した河川等の水質保全、合理的な水利用、健全な処理対策の推進などに向けて、粛々と整備が進められている。

今後千葉県北西部地域の人口が増加する想定のもと、一日も早い早期完成が待たれている江戸川第一終末処理場の整備状況をうかがう。都市整備局長 当該処理場は、江戸川左岸流域関連8市の公共下水道から流入する汚水量の状況を踏まえ計画的に整備を進めているところであり、令和3年3月に水処理全8系列のうち第1系列の供用を開始し、現在、第2系列の令和9年度供用を目指し整備を進めているところです。



望書の提出がありました。この要望を受け、県では各

江戸川第一終末処理場の完成図
今年度、市では車道部の、



田中議員 終末処理場北側の道路整備について、県有地を提供していただき行う計画を市川市と行っているところか。この道路は市民の生活道路として親しまれており、道路拡張によってさらに安全性と利便性が向上すると見込まれる。

併せて、地域住民は上部活用と行徳富士の用地着手にも関心を寄せている。それらについても前倒しで方向を示していただくよう要望する。

終末処理場北側道路
拡幅し緑道も整備
工事間で綿密な調整等を実施することにより、第2系列の供用を待たずに第3系列の整備を前倒しして着手するなど、早期完成に向け事業を進めてまいります。

オンライン
市民相談

県政や市川市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ
田中幸太郎事務所
〒272-0121 市川市末広1-10-4
TEL 047-701-5525
FAX 047-702-5454

マイナ免許証、3月24日スタート

県民へメリット周知を

申請に 備え準備

田中議員 この度、3月24日から運転免許証および運転経歴証明書とマイナンバーカードの一体化が始まる。ここで改めて、運用開始に向けての体制整備と一体化になることでのメリットを認識させていきたいと思います。

そこで、運転免許証とマイナンバーカード一体化のメリットはどうか。また、運用開始に向けた進捗をうかがう。

警察本部長 運転免許証の免許情報が記録されたマイナンバーカード、いわゆるマイナ免許証のみ保有する方については、住所や氏名の変更手続に関するワンストップ化が可能となり、市町村に届け出ることなどによって警察への変更届出が不要になります。

また、優良運転者または



県の対策を要望する田中県議

一般運転者であれば、更新時講習をオンラインで受講するが可能となるなどのメリットがあります。

県警では、県内全ての運転免許窓口において一体化の申請に対応するため、マイナンバーカードに運転免許情報

を記録するために必要な機器の整備や、関係職員に対する研修等を行っており、引き続き円滑な運用開始に向けた諸準備を推進してまいります。

真間川下流の不法係留船撤去指導の徹底要望

要望 田中議員 運転免許証とマイナンバーカードの一体化の件だが、今年3月24日の運用開始に向けて、優良と一般運転手のうち一体化したマイナ免許証のみ保有する方は、更新手続前にオンライン

講習や高齢者講習を受講した場合、お住まいの地域の警察署で即日交付できることを是非県民へより周知していただき、運転免許センターが更新で混雑しない状態を目指していただきたい。

を行っているところです。

また、来年度から、船舶としての機能を喪失している所有者不明の沈船を廃棄物として順次処理していくため、当初予算に必要な事業費を計上しています。

引き続き、市川市と連携しながら、不法係留対策の着実な推進を図るなど、適切な河川環境の維持に努めてまいります。

要望 田中議員 沈船に予算に必要な事業費を計上しているとのことであり、撤去指導を徹底していくことと合わせて不法係留対策にしっかりと取り組んでいただきたい。

田中議員 真間川下流の原木橋から河口までの間は船舶の係留が認められていないにもかかわらず、数多くの船舶が係留されており、更には、沈んでしまった船舶も見受けられる。

今後、洪水等により流された不法係留船舶が橋脚や水門に引っかかったり、護岸を損傷させたりすることで、

水害を招く心配もある。

そこであらうが、真間川下流の不法係留対策について取組状況はどうか。

県土整備部長 県では、昨年10月から、所有者が判明した船舶について、文書による撤去勧告を行うとともに、所有者不明の船舶については、船体等に順次警告文を掲示するなど、撤去指導

また、不法投棄された放置車両や打ち上げられた船舶の形をとどめていない廃棄物についても早急に対応を進めていただきたい。



真間川下流の不法係留船

県、沈船を廃棄物処理

人口減少時代到来

地域の活力維持・向上を

田中議員 今後、人口減少が進むことについて、県の認識はどうか。また、どのように対策を行っていくのか。

知事 人口減少は、本県に

おいても既に始まっており、地域経済の縮小、人手不足、集落機能の低下など、社会への様々な影響が懸念されることから、急激な人口減少を

緩やかにしていくとともに、人口減少下にあっても地域の活力を維持・向上させていく取組が必要となります。

県では、人口減少に伴う

様々な課題に対応するため、昨年度、産業界、子育て、教育、DX分野の有識者や、市町村などから広く意見を聴取し、多角的な視点から検討を行った上、第3期地方創生総合戦略を策定いたしました。

本戦略では、「千葉らしいライフスタイルの創造」を目指すべき理想とし、誰もが安心して子どもを生み育てられる環境づくり、企業誘致

や地域産業の活性化による雇用の場の創出、移住・二地域居住の促進などに取り組むこととしています。

今後、こうした取組をさらに強化をし、県内各地域において、住みやすく、暮らしやすい環境を作っていくことで、千葉に向かう人の流れを促進し、将来にわたって持続可能で活力ある千葉県づくりを進めてまいります。

東京湾アクアライン時間帯別料金で京葉道路の混雑緩和

田中議員 東京湾アクアラインの時間帯別料金の社会実験によって、千葉県から東京方面に向かう京葉道路の利用状況の変化はどうか。

県土整備部長 令和5年7月から土日祝日の上り線で実施している社会実験では、混雑している時間帯から前後の時間帯に交通が分散するなど、混雑緩和に一定の効果を確認されたほか、京葉道路とアクアラインの経路選択の状況についても調査を実施しております。

その結果、木更津ジャンク

ションから東京方面に向かう際に京葉道路を利用した方の割合は、アクアラインの通行料金を引き上げた時間帯では大きな変化がなかったものの、引き下げた時間帯では、実験前から3ポイント減少し、30パーセントとなっています。

本年4月からは、土日祝日の特定の時間帯に集中するアクアラインの交通量をより一層分散させるため、社会実験の内容を見直すこととしており、引き続き、交通分散の効果等を確認してまいります。